

令和4年度 芳賀町立芳賀北小学校スクールプラン

芳賀町教育目標

生き抜く力を育むために芳賀町が目指すもの

- 1 質の高い学校教育の推進と確かな学力の習得
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 家庭・地域の教育力の向上
- 4 生きがいつくりと伝統文化の継承
- 5 スポーツの振興

<学校教育目標>

「◆学ぶ子 ○守る子 ■がんばる子」

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。

指導の基本方針

- 1 「腑に落ちる」指導
- 2 三意（熱意、誠意、創意）【繰り返し・見届け・策略】
- 3 人権教育のシャワーが降り注ぐ学校

こんな子どもを

- ◎明るく素直で、協力的に活動する。
- ◎上級生が下級生の面倒をよく見ている。
- ◎大きな声であいさつや歌が歌える児童が増えてきた。
- △基本的な生活習慣が身に付いていない児童が見られる。
- 学びに対して受け身な面が見られる。
- 伝え合う力が十分でない。
- 自主的な課題解決能力が十分でない。

このような取組をととして

- ・学力・体力向上の指導を徹底し、生命・人権尊重の精神を育み生きる力を高める。
- ・学校運営に全職員が参画する中で、信頼感と同僚感を深め、組織を生かした学校運営に努める。
- ・学校と家庭、地域社会、関係機関との連携を密にし、地域とともにある学校づくりを推進する。

こんな子どもに <くめず児童像>

- ◆伝え合い教え合い自他共に学び合う子
- ◆相手の話をしっかり聞いて考える子
- ◆集中して学び、確かな学力を身に付ける子
- 相手の気持ちを考えて行動できる子
- 学校や社会のルールを守り、自他の生命を大切にできる子
- 人や自然、地域を大切にできる子
- 明るく元気なあいさつや返事ができる子
- めあてをもって最後までやりぬく子
- 体力づくりに励む子

重点目標

確かな学力

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と教師の指導力の向上を図る。

豊かな心

人や自然、社会との関わりの中で豊かな感性を育て、心の教育の推進に努める。

健康・安全

健康で安全な生活の習慣化を図り、体力の向上を目指す。

地域とともにある学校

学校や地域に誇りをもつ児童の育成し、地域とともにある学校づくりに努める。

具体的な取組

- ・一部教科担任制を導入し、教師の専門性、指導力を高める。
- ・「みんながわかる、みんなでわかる」を目指し、学び合い学習を展開する
- ・家庭を巻き込んだ学習習慣の育成
- ・規範意識が高く、居心地がよく、互いに高め合える学級づくり
- ・読書や暗唱、話し合いを通して言語感覚や表現力を高める
- ・個の特性を理解し、寄り添った指導

- ・全教育活動を通して道徳教育を充実させ、いじめを絶対に許さない
- ・「3つのあ（あいさつ・あんぜん・あつまりかた）」を重点とした基本的な生活習慣の育成
- ・人や自然、社会との関わりを深める体験活動を通し豊かな感性を育てる
- ・役割を分担することで、学級や学校の一員としての役割を自覚し、責任を果たそうとする態度の育成

- ・児童支援・特別支援教育の校内体制を充実させ、組織的な対応を図る
- ・総合的な食育を推進するとともに、運動を習慣化して体力や運動能力の向上させ、健康な体をつくる
- ・ランRUNタイムの充実
- ・交通安全、防犯・防災指導等の充実・健康で安全な生活の習慣化
- ・スクールバスの安全な利用の徹底
- ・感染症対策の徹底

- ・保護者、地域、関係機関との積極的な連携を図り、信頼される学校づくりに努める
- ・地域と連携した積極的なあいさつや地域行事への参加を促進する。
- ・地域探検・地域めぐりなど、地域環境を生かした学習の展開
- ・ボランティア活動の積極的な受け入れと発信
- ・各種たより、HPを利用した情報の発信と共有

数値目標(評価)

- ・「授業の内容がよく分かる」児童：85%以上
- ・「話し合いの場を意識的に設け、互いの考えを伝え合う学び合い学習を展開している」教職員：90%以上
- ・「学校は子どもに、楽しくわかりやすい授業を提供している」保護者：80%以上

- ・「学校での体験や行事などは楽しい」児童：85%以上
- ・「人や自然、社会との関わりを深める体験活動を通し、豊かな感性を育てている」教職員：90%以上
- ・「学校は体験活動や行事を通じて、児童の豊かな心を育てている。」保護者：80%以上

- ・「給食を残さず食べようと努力したり、ランRUNタイムのとき、時間いっぱい走っている」児童：85%以上
- ・「食育の推進とともに、運動を習慣化して体力を向上させている」教職員：90%以上
- ・「子どもは健康を考えて、食事をしたりや体力づくりを推進したりしている」保護者：80%以上

- ・「地域の方に積極的にあいさつしたり、行事に参加したりしている」児童：80%以上
- ・「児童が積極的に地域の方にあいさつしたり行事に参加したりできるよう支援している」(文言変更) 教職員：85%以上
- ・「子どもは、地域の方にあいさつしたり、地域行事に参加することを楽しみにしている」保護者：80%以上